学校だより

第７号　ジャカルタ日本人学校
令和８年(2026 年) 10 月 30 日

校長本川里美
TEL : 021-745-4130

JJS フェスティバル

創り上げた深まる学びと感動の歌声

校長　本川　里美

10 月 23 日、24 日に開催いたしました「JJS フェスティバル」および「合唱コンクール」では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの輝かしい姿に温かいご声援をいただきましたことを、改めて御礼申し上げます。

中学部の合唱コンクールでは、発表に向け、子どもたちは限られた時間の中で連日練習を重ねてまいりました。練習から試行錯誤を重ね、聞くごとに上手になり、中学生のもっている底力を感じました。リハーサルでは美しい歌声を聞かせてくれましたが、発表が近づくと更にクラスの意気込みは高まり、互いに声を掛け合い、アドバイスをし合いながら、一筋のハーモニーを作り上げていきました。当日の体育館に広がった歌声は、単に美しい音の重なりというだけでなく、これまでの努力や葛藤、そして仲間と共に乗り越えてきた歴史が込められた感動的なものでした。他学年の演奏を真剣なまなざしで聴き入る姿や、仲間の努力を心から称え合う拍手にも、子どもたちの大きな成長を実感いたしました。成果だけでなく、「仲間と一つのものを創り上げるプロセス」にこそ、かけがえのない学びがあったと感じています。

また、小学部の 1，2 年生の国語のお話の劇は、自分たちで考えた工夫がいっぱいで、大きな声や動きを考え、一人一人が一生懸命に演技していました。努力や思いが見ている人の心に届き、感動がいっぱいの体育館になりました。3 年生以上のブース発表もお客様がたくさん教室に足を運んでくださり、大変盛況でした。発表は少し緊張しながらも自分たちの学んできたことを自信をもって堂々と表現していました。他学年と交流することも学びになったと考えております。

11 月は、学期のまとめに向けた学習が充実する時期でもあります。合唱コンクールや JJS フェスティバルで培った「互いを認め合い、協力する心」や「最後までやり遂げる力」を、これからの日々の授業や学校生活に活かしてほしいと願っております。

今月も元気に充実した毎日を過ごせるよう、ご家庭におかれましても引き続き温かい見守りと健康管理へのご配慮をお願い申し上げます。